2025年度 FD Session

多様な学生が履修していることを踏まえた授業の工夫や改善の試みについて

－障害のある学生への支援の視点から－

京都大学 学生総合支援機構 准教授

村田　淳　先生

障害学生支援部門 部門長・チーフコーディネーター
ディスアビリティ・インクルージョンセンター センター長
高等教育アクセシビリティプラットフォーム ディレクター



- 日時：2026年 3月 3日（火）16:00～17:00
- 開催方法：オンライン形式（ZOOM）
- 対象：本学教職員

※URL等はマナビー【FD関連Info.（2025年度）】およびD-Passにてご案内いたします

大学等の高等教育機関において、近年、障害等のある学生が増加しています。これは単に学生個々の状況において機能障害や慢性疾患等がある学生が増えているということではなく、合理的配慮等の修学支援が必要であったり、その他の学生生活上の困難が生じていたりする学生が増加していると捉える必要があるでしょう。

このような学生の学びの権利保障、そして大学としての教育責任の果たし方について、どのような基本的理解や具体的なアプローチが必要になるのでしょうか。本研修では、大学等における支援や配慮のあり方について、個々の教職員におけるアプローチはもちろん、組織として必要なシステムなどについても考える機会になればと考えています。

主催：同志社女子大学　教務部　教育開発支援センター